

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 8 月 8 日

上場会社名 ユニチカ株式会社 (コード番号：3103 東証第 1 部、大証第 1 部)

(URL <http://www.unitika.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 平井 雅英

問合せ先責任者 執行役員 経理部長 村上 正利 (TEL：(06) - 6281 - 5721)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無
における認識の方法との相違の有無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日）

(1) 売上高

(注) 金額の百万円未満は切り捨て

	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	50,821	-
15 年 3 月期第 1 四半期	-	-
(参考)15 年 3 月期	233,725	-

(注) 当該四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

[補足説明]

依然厳しい景況が推移する中で、当社グループでは、中期経営 3 ヶ年計画 - グループプログラム「飛躍 05」 - に基づき、収益強化とコストダウンへの取組みを開始しました。その結果、当該四半期売上高は、計画を若干上回りました。

フィルムを中心に高分子事業は差別化品等の販売強化に努めた結果、計画比増収となり、環境事業も堅調に推移しました。生活健康その他事業においてはセラミド（美容食品素材）、耐火スクリーンシャッターなどが順調に拡大し、また、「白幻鳳凰」（ハナピラタケ健康食品）を上市するなど積極的な事業活動を推進しました。繊維事業においては、ポリエステル製の差別化品を中心に販売を伸ばし、堅調に推移しました。

なお、営業利益、経常利益は計画を若干上回りました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は発生しておりません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）

業績は、当初予想どおり推移しており、業績予想の修正はありません。

以 上